

1. 科目名 (単位数)	中国の文化と言語I (2 単位)	3. 科目番号	GECM1313 GECM1323
2. 授業担当教員	張 岩		
4. 授業形態	講義、ディスカッション、グループ学習等	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>初心者を対象に、中国語の基礎訓練を行う。やさしく、正確に、しかも気軽に話せるように、まず簡単な会話の訓練から始める。同時に、古来より日本にはかりしれない影響を与え続けてきた、「隣の国」中国の文化と歴史についても学習していく。国連公用語に指定されている、国際語としての中国語の言語的特徴 (リズミカルな美しい音調等) を理解し、簡単な会話であれば、気軽に正確に使えるようになることを目指し、学習を進めていく。また、今、経済成長を遂げ、国際的にも発言力を増してきた中国について、言語と文化、そして人びとの暮らしを通して理解し、これからの交流の機会に役立てていく授業である。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中国語の発音と文法の概略を知り、自ら学習を進展させることができるようになるための基礎を身につける。 2. ピンイン (ローマ字による中国語発音表記システム) の読み方と綴り方、常用の単語、日常の挨拶語、単文の基本文型などを学ぶことで、中国語の各音節が声調を伴って正確に発音でき、基本的な表現構造を理解できるようになる。 3. 授業では簡単な受け答えや聞き取り・書き取りなどの練習を通して、簡単な会話が聞き取れ、話せるようになる。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>授業中の口頭発表：随時、ディスカッション後 (授業に対しての理解を確認する、個人の見解を述べて、皆で考える) 。</p> <p>授業中及び授業後のドリル：一課毎 (勉強した内容を振り返って、理解を強化する) 。</p> <p>レポート：1回 (映画などを見て考えよう。命題。800~1200文字) 。</p> <p>小テスト、期末まとめドリル (採点あり) : 学期中、期末 (学習内容を復習し、どれくらい習得したのかを確かめる) 。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 陳淑梅・劉光赤著『しゃべっていいとも中国語 (中西君と一緒に中国へ行こう) 改訂版』朝日出版社、2024年。(履修にあたって、教科書は必ず用意すること) 。</p> <p>【参考書】 (任意)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中国語辞書 ○瀬戸口 律子著『完全マスター中国語の文法 改訂版』語研、2015。 ○竹内 実著『北京』文芸春秋社、1999。 ○沈潔 著『地域福祉と福祉NPOの日中比較研究』日本僑報社、2006。 ○その他、インターネットなど。 		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<ul style="list-style-type: none"> ○成績評価の規準 (学習目標) <ol style="list-style-type: none"> 1.中国語の発音と文法の概略を知り、自ら学習を進展させることができるようになるための基礎を身につけたか。 2.ピンイン (ローマ字による中国語発音表記システム) の読み方と綴り方、常用の単語、日常の挨拶語、単文の基本文型などを学ぶことで、中国語の各音節が声調を伴って正確に発音でき、基本的な表現構造を理解できたか。 3.授業では簡単な受け答えや聞き取り・書き取りなどの練習を通して、簡単な会話が聞き取れ、話せたか。 <ul style="list-style-type: none"> ○評定方法 <p>事前学習・事後学習の状況も含め、授業への参加度、小テスト、レポート等を総合して評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.授業への積極的な参加 総合点の30% 2.小テスト 総合点の40% 3.課題レポート 総合点の30% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>発音が難しいといわれる中国語ですが、ルールやコツを覚えてしまえば大丈夫。漢字を使う日本人にとっては、とても学びやすい外国語だといえます。しかし、共通点が多い反面、「日本語とは異なる外国語である」としっかり認識しておかないと、日本語との混同や誤用が習得の妨げになることも。また、文化面でも日中には多くの共通点がありますが、理解を深めるためには相違点についても知る必要があります。この授業を通して、中国語だけでなく、言語とその背景にある文化や人々の暮らしについても学んでいきましょう。</p>		
13. オフィスアワー	授業時間の前後に設ける。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	講義概要・学習目標・注意事項などの説明 グループ分け ディスカッションと指導：あなたの知っている中国と中国語	事前学習	中国と中国語について考えよう：知っている事、知ってみたい事。
		事後学習	要点をノートにまとめる。確かめたいものはインターネットや図書館で調べてみる。 教科書、ノートを用意。
第2回	発音記号と声調I (母音、子音、組み合わせ) (教科書第1~4課より、中国語基本音節表)	事前学習	予習：教科書 pp.2~3、9~10、13~14 (内容を読んで理解する) 。
		事後学習	復習：発音記号と声調Iの内容 (授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書

			の内容をまとめて、CD を聴いて発音練習をする)。
--	--	--	----------------------------

第3回	教科書 p.11、p.15 ドリル 発音記号と声調II (母音の鼻音、声調) (教科書第1~4課より、中国語基本音節表)	事前学習	予習：教科書 pp.5~6、17~18 (内容を読んで理解する)。
		事後学習	復習：発音記号と声調IIの内容 (授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書の内容をまとめて、CDを聴いて発音練習をする)。教科書のドリルで間違えたところをまとめる。
第4回	教科書 p.7、p.19 ドリル 発音記号と声調III (変調、r化、軽声) 簡単なあいさつから発音を練習 (教科書第1~4課より)	事前学習	予習：教科書 pp.5~6、17~18 (内容を読んで理解する)。
		事後学習	復習：発音記号と声調IIIの内容 (授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書の内容をまとめて、CDを聴いて発音練習をする)。教科書のドリルで間違えたところをまとめる。
第5回	小テスト (発音記号と声調の確かめ) 中国いろいろ	事前学習	復習：発音記号と声調I~IIIの内容 (授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書の内容をまとめて、CDを聴いて発音練習をする)。
		事後学習	小テストで間違えたところをまとめる 第1~4課の挨拶用語を暗記する。
第6回	教科書第5課「出迎える」 (名前の言い方と尋ね方)	事前学習	予習：教科書 pp.20~22 (文法ポイントを理解する、練習問題を解く、本文を訳してみる、CDを聴いて発音を試みる)。
		事後学習	復習：教科書第5課の内容 (ノート、教科書：授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書の内容をまとめて、発音練習をする)教科書 pp.24~25 ドリル。
第7回	教科書第5課 教科書 pp.24~25 ドリルの答え合わせ 教科書第6課「歓迎パーティー」 (動詞“是”、助詞“的”)	事前学習	予習：教科書 pp.26~27 (文法ポイントを理解する、練習問題を解く、CDを聴いて発音を試みる)。
		事後学習	復習：教科書第6課の内容 (ノート、教科書：授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書の内容と教科書のドリルで間違えたところをまとめる)。
第8回	教科書第6課 pp.28~29 教科書 pp.30~31 ドリル 映画「生きる」とその時代背景 (資料配布)	事前学習	教科書 p.28、CDを聴いて発音してみる、第6課の本文を訳してみよう。
		事後学習	復習：教科書第6課の内容 (ノート、教科書：授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書の内容と教科書のドリルで間違えたところをまとめる)。 映画「生きる」の時代背景について、資料を読む、調べる (インターネット、図書館など)。
第9回	映画：「生きる」I	事前学習	映画「生きる」とその時代背景 (資料などを読む)。
		事後学習	映画の内容をノートにまとめる。
第10回	映画：「生きる」II、レポート課題を配布	事前学習	映画「生きる」とその時代背景 (資料などを読む)。
		事後学習	映画の内容をノートにまとめる。
第11回	教科書第7課「タクシーに乗る」 (基本語順、連動文) ディスカッションと指導、「生きる」レポート設題について	事前学習	映画の資料やノート、調べた内容を用意。 予習：教科書 pp.32~33 (文法ポイントを理解する、練習問題を解く、CDを聴いて発音を試みる)。
		事後学習	復習：教科書第7課の内容 (ノート、教科書：授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書の内容をまとめる)。 ディスカッションの内容をノートにまとめる、レポートの主旨を決める、レポートを書く。
第12回	教科書第7課 pp.34~35 教科書 pp.36~37 ドリル	事前学習	教科書 p.34、CDを聴いて発音してみる、第7課の本文を訳してみよう。
		事後学習	復習：教科書第7課の内容 (ノート、教科書：授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書の内容と教科書のドリルで間違えたところをまとめる)。

第 13 回	教科書第 8 課「宿泊する」 (能願動詞 “想”、動詞 “有”) レポート提出	事前学習	予習：教科書 pp.38～40 (内容を読んで理解する新出単語を発音して覚えてみよう)。レポートを用意。
		事後学習	復習：教科書第 8 課の内容 (ノート、教科書：授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書の内容をまとめて、発音練習をする)。教科書 pp.42～43 ドリル。
第 14 回	教科書第 8 課 pp.40～41 教科書 pp.42～43 ドリルの答え合わせ 1～8 課復習練習問題	事前学習	予習：教科書 p.40、CD を聴いて発音してみる。第 8 課の本文を訳してみよう。
		事後学習	復習：教科書第 8 課の内容 (ノート、教科書：授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書の内容と教科書のドリルで間違えたところをまとめる)。 総復習：1～8 課の授業でノートにメモした内容や、教科書の内容と教科書のドリルで間違えたところをまとめる、1～8 課復習練習問題を覚える。
第 15 回	映像で復習 (DVD) 期末まとめドリル (採点あり) (1～8 課)	事前学習	ノート、教科書、プリントを整理して用意。
		事後学習	後日配布する「期末まとめドリルの解答例」で間違えた所を再学習する。
期末試験			